



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：[kyousan@jcp-yachiyo.jp](mailto:kyouasan@jcp-yachiyo.jp)

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第670号

2025年4月14日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

高すぎる東葉高速線の運賃値下げ問題 服部市政2期で実現できなかった市民の願い

5月25日に2期目の任期満了となる服部市政、1期目の公約では「東葉勝田台駅から大手町駅までの運賃を310円に値下げ」、2期目は「通学定期の割引率拡大」と掲げていましたが、全く実現されていません。

服部市長が掲げていた公約に希望を求めている市民にとっての願いは叶わず、そして利用者はいまでも高い運賃を払い続けています。



公約実現に向けた見通しは？

日本共産党は3月議会において、服部市長の任期まで残りわずかとなっているなかで、公約である東葉高速線の通学定期の割引率拡大に向けた見通しについて確認しました。

市の答弁は、「今後、通学定期の割引率を引き上げることで東葉高速線を利用する学生がどの程度増えるかについて試算する」という東葉高速自立支援委員会の検討状況をなぞっただけで、市長の公約実現に向けた意気込みが感じられないものでした。

服部市政8年間で具体的な検討は？

日本共産党はこれまでに、東葉高速線の運賃引き下げのために服部市政にたいし、「他市で実施しているような高校生等通学定期券補助制度を八千代市独自の運賃割引を行うべき」「北総線のように沿線自治体と共に戦略的に利用者を維持できるような施策の実施」そして、「株主総会において市民を代表して意見を述べるべき」などと提案していましたが、実施に向けた具体的な検討は示されていません。

通学定期代は北総線の約4.7倍！運賃値下げは喫緊の課題

東葉高速線の通学定期代は、2022年10月に大幅値下げを実施した北総線と比較すると、1キロメートルあたりの単価で約4.7倍にもなります。（※京成線の約3.3倍：下表参照）

高すぎる東葉高速線の通学定期の割引率拡大は喫緊の課題です。そして、運賃全体を値下げするためにも八千代市は国へ対して「後から開通したつくばエクスプレスのように債務の利息部分は国が負担するべき」と、もっと強く求めて行く必要があります。

高すぎる！
東葉高速線の
通学定期代

鉄道会社	区間(距離)	期間	通学定期代	1km単価
北総鉄道	印西牧の原～京成高砂(28.5km)	6か月定期	26,950円	945円
東葉高速鉄道	東葉勝田台～西船橋(16.2km)	6か月定期	72,580円	4,480円
京成電鉄	勝田台～京成西船(18.1km)	6か月定期	24,470円	1,352円

↓約4.7倍

↑約3.3倍

※北総鉄道は2022年10月1日改定の運賃表、東葉高速鉄道は2019年10月1日改定の運賃表、京成電鉄は2024年3月16日改定の運賃表からの引用